

科目の種類	選択必修	科目名	書道 I	学年	1	単位数	2
コース	文理特進コース・進学コース						
教科書	光村図書 「書 I」						
副教材	教育出版 「高校硬筆の練習」						
<p>科目のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道は、小・中学校の国語の授業で学んだ書写とは違い、文字を素材とした、「美的表現芸術」になることを目標にしています。</li> <li>・柏葉祭，全国書道展に出品して、客観的評価を問い、「美的表現芸術」としての完成度を目指します。</li> </ul>							
<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道概論・書道史の理論と、用具・用材の種類や作り方・用い方を学びます。</li> <li>・小・中学校で学んだ書写の復習として、漢字・仮名の基本線の練習をします。</li> <li>・中国・日本の古典作品を鑑賞したうえで臨書（手本を見て書くこと）します。</li> <li>・前期は楷書と行書、後期は仮名、漢字仮名交じり書と実用書を書きます。</li> <li>・单元ごとに、古典作品を基調とした創作をします。</li> </ul>							
<p>より良く学習を進めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単なる「習字」でなく、中国四千年の歴史をふまえた「書道」であるという点を理解し、古典に学ぶことが、絵画のデッサンにあたることを理解します。</li> <li>・漢字・仮名の基本線をマスターし、それを古典作品の臨書に生かします。</li> <li>・鑑賞眼を養って、美的感性を高めます。</li> <li>・古典作品の線の特徴を生かして、創作という美の表現にまで高めていきます。</li> <li>・書は「表現芸術」であるとの観点に立って、展覧会出品を目指して学習します。</li> </ul>							
<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典作品の臨書が、デッサンにあたることを理解し、それぞれの文字の基本線を正しく用い、我流でない線で臨書し、のびのびと力強く創作に生かしているかを中心に評価します。</li> <li>・出席状況・授業態度・後片づけなどのマナーも加味して、総合的に評価します。</li> </ul>							

